



平成31年2月12日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(JASDAQ コード: 6666)
問合せ先 執行役員総務本部長 大柴 公基
(TEL. 0551-22-1211)

通期業績予想および配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表しました平成31年3月期の通期業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成31年3月期 通期連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,268	百万円 71	百万円 46	百万円 40	円 銭 5.52
今回修正予想 (B)	4,208	△650	△650	△668	△90.71
増減額 (B - A)	△1,059	△721	△697	△709	
増減率 (%)	△20.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	4,611	△376	△432	△441	△59.9

(2) 修正の理由

売上高は、スマートフォン市場、とりわけ当社が主戦場としているハイエンド市場において、スマートフォンメーカーの出荷が低調だった影響を受け、受注が想定を大幅に下回ることから、売上高は当初予想を大きく下回る見込みです。

営業利益は、高付加価値製品及び新製品の受注増による収益改善を見込んでおりましたが、減収の影響から想定を大幅に下回る見込みとなり、従来予想から721百万円下方修正し、営業損失650百万円、経常利益は、為替差益の増加等が見込まれることから、697百万円下方修正し、経常損失650百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に退職特別加算金12百万円を計上することから709百万円下方修正し、親会社株主に帰属する当期純損失668百万円となる見通しです。

非常に厳しい状況ではありますが、平成30年11月9日公表の「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」のとおり、当社グループ全体で抜本的な構造改革を行っております。

経営合理化の取り組みに関する進捗状況ですが、生産体制の全体最適化に伴う人員の適正化につきましては12月末現在で約120名が退職し、目標を達成しております。今後も引き続き生産体制の効率化を継続してまいります。また、役員報酬等の減額については継続中であり、資産の圧縮につきましても投資有価証券の売却や不動産在庫の処分などを検討してまいります。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成30年5月11日発表)		未定	未定
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主の皆様への安定的な配当を継続的に行うことを経営上の重要な政策として位置付けており、業績の状況や配当性向、内部留保の充実などを勘案したうえで、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、上記「1. 業績予想の修正について」のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を大幅に下回る見通しとなったため、これまで未定としておりました当期の期末配当金予想を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上